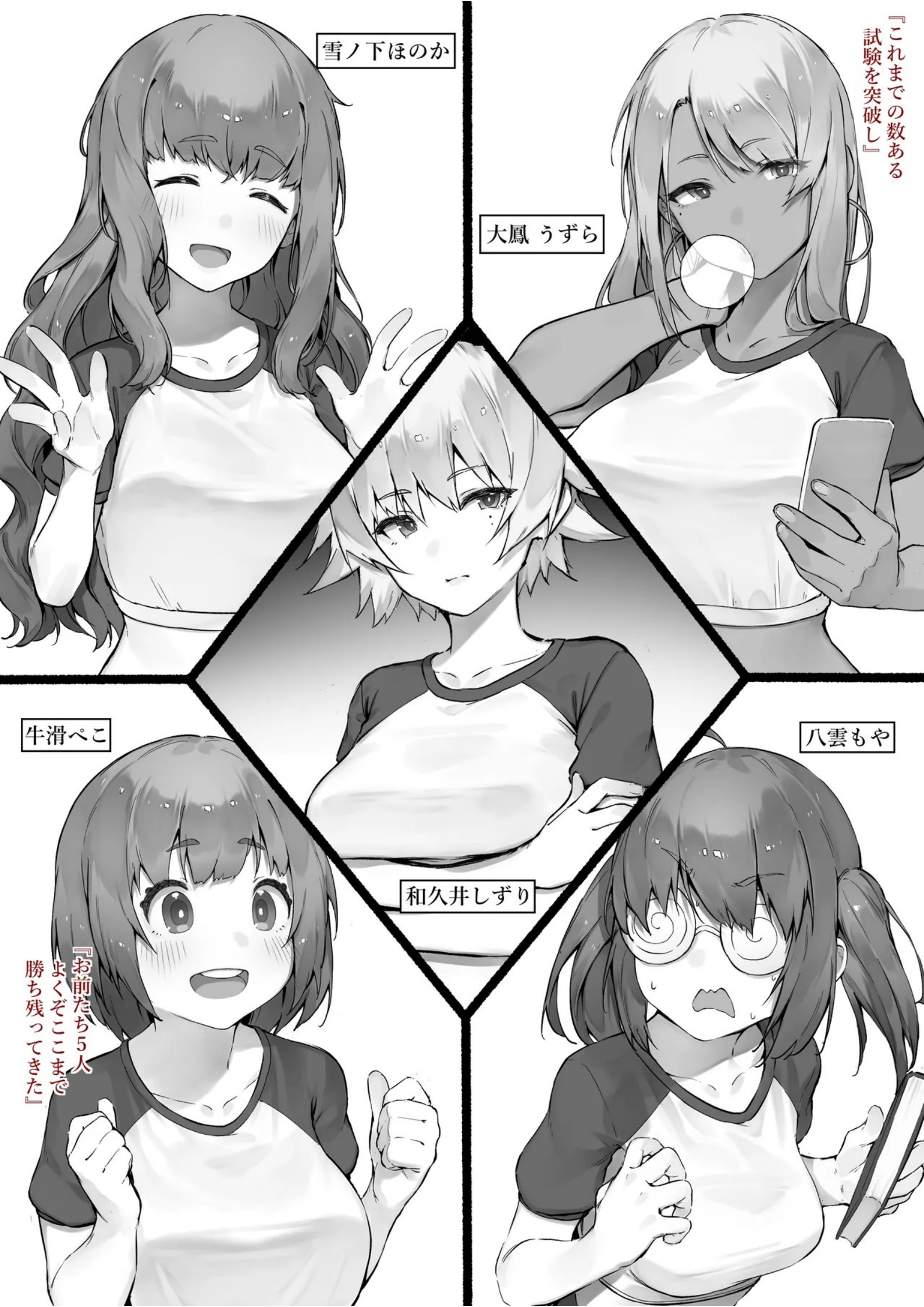
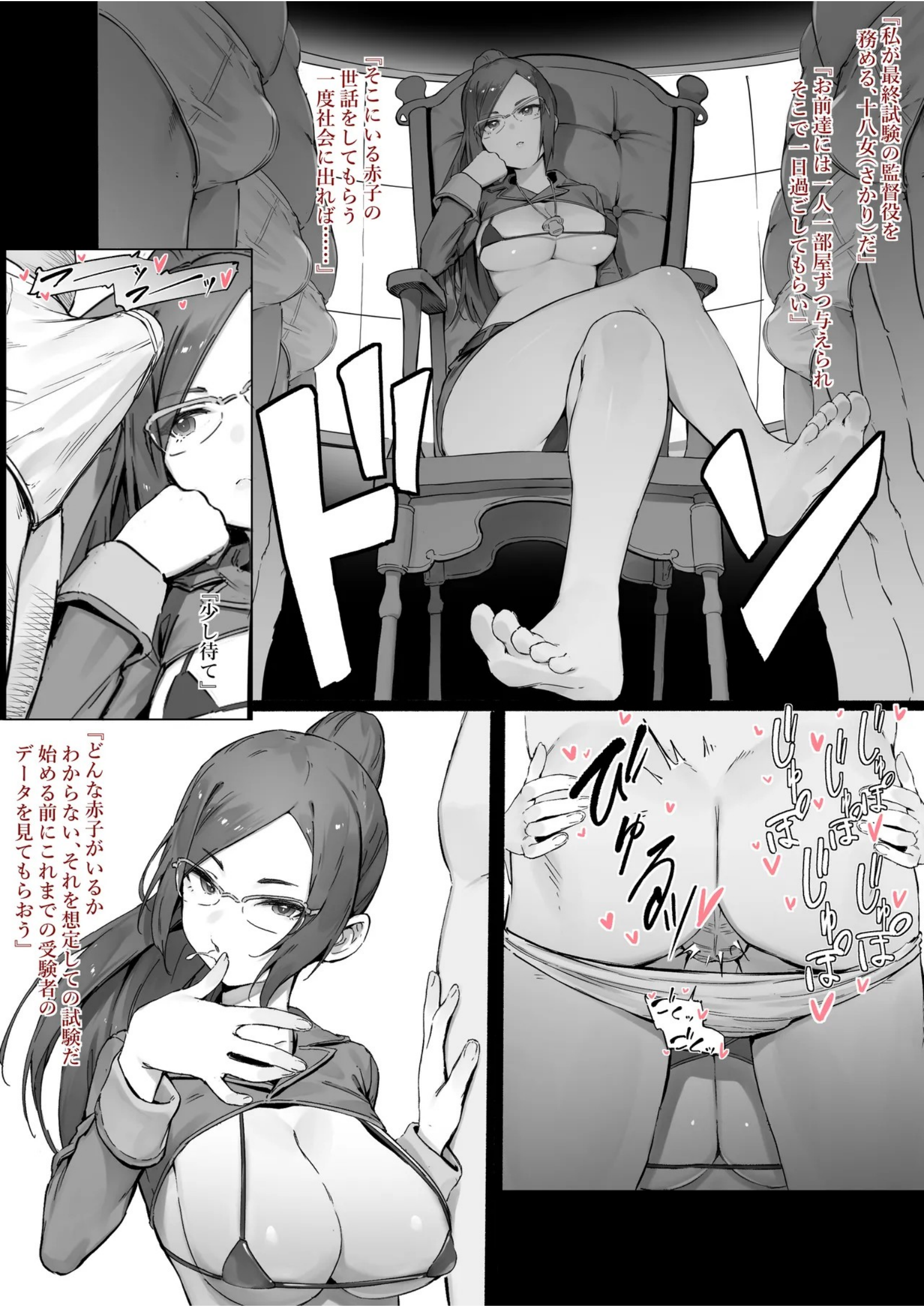

雪ノ下ほのか
『これまでの数ある試験を突破し』
大鳳 うずら
和久井しずり
牛滑ぺこ
八雲もや
『お前たち5人よくぞここまで勝ち残ってきた』


『私が最終試験の監督役を務める、十八女（さかり）だ』
『お前達には一人一部屋ずつ与えられそこで一日過ごしてもらい』
ドン
『そこにいる赤子の世話をしてもらう一度社会に出れば……』
フーッフーッ
『少し待て』
じゅぽじゅぽじゅぽじゅぽ
びゅるる
ごくっごくっ
『どんな赤子がいるかわからない、それを想定しての試験だ始める前にこれまでの受験者のデータを見てもらおう』

この者は成績こそ優秀であったが
実技は不慣れでな
どきどき
どきどき
『そ、それではオムツから変えていきましょうね～』
しゅる…
『あ、あっご、ごめんねす、すぐキレイにしてあげるねっ』
むわぁ…
はーっ
はーっ
びくっ
びくん
ぐぐっ
おっ
おおっ
おっ
ぐぐっ
ぐぐっ
ぐぐっ
ぐぐっ
このように突然暴れだす赤子もいる

あ、赤ちゃん？が増えてる……
赤子は何人いるかわからない
一人の赤子に手間取っているとすぐにやりたい放題やらせてしまう
すばやい対応が求められる

毎年この試験では
多くの脱落者がでる
昨年は赤子に捕まり
三日間部屋から出て
こなかったものもいる
それでは各自
指示された部屋へ迎え!!
つづく